



現場に届く、学びを。

RECRUIT

支援する側から、支援者を支える側へ

西日本こども研修センターあかしは、支援者の学びと実践を支えます。

支援者一人ひとりが、新たな学びや視点に出会い、
自分の実践を捉え直しながら、力を得て現場に戻っていけること、
その変化がチームや組織にも広がり、
子どもと家族が孤立せず、安心して支えられるやさしい社会を目指します。

Join AKASHI

『あかし』で働くという選択

2026

STORY 支援する側から、支援者を支える側へ

現場で子どもや家族に
向き合ってきた人の**経験**には、
資格や肩書きだけでは表せない
価値があります。
迷いながらも関わり続けてきた
実践の積み重ねは、
支援を担う人たちを**支える力**になります。

西日本子ども研修センターあかしは、
児童相談所、市町村、児童福祉施設などで
働く職員に対して、高度専門的な研修を企画・実施している研修機関です。
私たちが担うのは、単に研修を運営する仕事ではありません。
現場で起きている課題を丁寧に捉え、何が必要とされているのかを考え、
その学びを**研修という形**にして届けていく仕事です。
現場で培った経験を、**支援者を支える仕事**へ。
あなたの経験を、私たちと一緒に活かしてみませんか。



WHAT WE DO 私たちは何をしているのか

私たちが目指しているのは、
日々の支援に迷いや難しさを抱えながら向き合っている
支援者が、研修を通して新たな学びや気づきを得て、自分の支援を捉え直し、
エンパワメントされ、現場に戻っていけるようにすることです。
そして、その変化がその人だけにとどまらず、
チームや組織にも広がり、支援の質の向上につながっていくことを目指しています。
現場では、理論や制度だけでは整理しきれないことや、
正解が一つではない場面に日々向き合います。
だからこそ必要なのは、知識を一方向的に受け取るだけの研修ではなく、
日々の支援を振り返り、さまざまな見方に触れ、
自分の実践を捉え直すことのできる学びです。



私たちは、**現場の課題を起点**に、
講師や実践者と協働しながら、
どんな学びが必要なのか、
どうすれば**受講者に届く**のかを考え、
研修を一から組み立てています。
単に講師を招いて研修を実施するだけ
ではなく、研修そのものを**プロデュース**
していくことが、この仕事の大きな**役割**
であり、**やりがい**でもあります。

PURPOSE

なぜこの仕事をするのか



現場では、目の前の子どもや家族に向き合いながら、これでよかったのか、ほかにはできることはなかったのかと迷う場面があります。支援が難しいのは、**知識だけでは越えられない課題**があるからです。

だからこそ、支援者には、新たな学びや視点に触れ、自分の支援を捉え直しもう一度力を得て現場に戻っていける機会が必要です。

私たちがこの仕事をするのは、そうした**変化のきっかけ**をつくりたいからです。**一人の支援者の変化**は、やがて**チームや組織、地域**にも広がり、**子どもや家族への支援の質**を変えていきます。

この仕事は、現場で悩み、考え、積み重ねてきた実践や問いを、今まさに迷いながら支援に向き合っている人たちに対して、実践に**活かせる学び**を届けていく仕事です。

だからこそ、この仕事には現場を経験してきた**あなた**にしか作れない**価値**があるのです。

APPROACH

どうやって実現しているのか

私たちは、机上で研修を考えるのではなく、**現場に足を運び、実践やその場の空気感に触れる**ことを大切にしています。どこで支援が難しくなるのか、どんな場面で迷いが生まれるのかを、**自分の感覚として捉える**ことが、**研修づくりの出発点**になります。

そのうえで、外部研修や学会への参加、所内での学び合いを通して知見を更新し、全国の第一線で活躍している実践者や専門家、そして、当事者と**対話**を重ねながら、現場の課題と専門的な知見をつなぎ、研修として組み立てていきます。

こうした学びとネットワークの中で得た視点や気づきを、どのように受講者に届ければ**現場で活かされるのか**を考え続けることが、この**仕事の中核**です。

さらに、近年は**海外視察研修**にも参加するなど、海外の講師や当事者との対話を通じて、海外の実践や制度に直接触れる機会があります。国内の枠だけでは見えにくい**価値観**や支援のあり方に触れ、それを日本の現場や研修にどう活かすかを考えることも重要な仕事の1つです。



現場へのフィールドワーク、学会や研修への参加、全国の実践者・専門家・当事者とのネットワーク、そして海外での学び。こうした多様な学びに日常的に触れながら、**自分自身の視野や実践感覚を広げていける環境**で働くことが可能です。

私たちと一緒に、あなたの**現場経験**を、**支援者を支える力**に変えていきませんか。ご応募お待ちしております。

採用説明会（見学会） 全日13時～14時

① 2026年6月 4日（木）@対面

② 2026年6月 24日（水）@対面

③ 2026年7月 8日（水）@オンライン

※ご希望の方はお電話にて申込み下さい。

TEL(078-920-9675)

公益財団法人こども財団 西日本こども研修センターあかし 職員募集案内



◆募集する職員

正規職員(研修企画担当)

西日本こども研修センターあかしは、こども家庭庁の「虐待・思春期問題情報研修センター事業」を行う研修機関として、全国の児童虐待防止に関わる職員(特に指導的立場にある職員等)に対して、専門的・実践的な研修を実施しています。

この度、当研修センターが行う研修の企画立案・運営・実施等を担当する正規職員を募集します。

< 求める人物像 >

- 子ども虐待対応における現場の課題を適切に捉え、身に付けるべき知識や態度、実践的支援技術についての高い見識と深い洞察力を持っている人材
- 現場の職員や指導者のニーズを的確に把握して、実践的・効果的な研修を企画立案し、着実に運営できる人材
- 研修実施に協力していただく専門家や実践者、当事者と円滑にコミュニケーションを図り、それぞれの知見や経験を効果的に研修に活かすことができる人材
- 支援者を対象とした研修企画や人材育成等の業務に関心・熱意がある人材
- 新しい研修の実施方法(研修デザイン、オンライン研修、オンデマンド教材の作成、アウトリーチ研修、事例検討及びグループワークの充実等)に関心を持ち、積極的にチャレンジできる意欲のある人材
- 多領域の知見や実践を積極的に学ぶ意欲のある人材

試験日	2026年9月13日(日)
試験会場	西日本こども研修センターあかし
受付期間	2026年5月1日(金)～2026年7月31日(金)

1 募集職種・人数・主な職務内容

職種	人数	職務内容
研修企画担当	若干名	○研修の企画立案、運営実務の管理、研修講師等との調整 ・児童相談所、市町村、児童福祉施設を対象(参集) ・全ての職種・職域を対象とした研修(オンライン) ○こども家庭センター(市町村)支援事業 ・アドバイザー派遣、基礎動画の作成・配信など ○オンデマンド教材の企画・配信 ○現場実践の集積や調査等 ○各種情報の発信

2 受験資格

1967年(昭和42年)4月2日以降に生まれ(2027年4月1日時点で59歳以下)、次の(1)(2)のいずれかを満たし、支援者を対象とした研修企画や人材育成等の業務に関心・熱意がある方。

- (1) 児童相談所、市区町村、児童福祉施設等において児童福祉・母子保健や子ども虐待対応、権利擁護に関する実務経験を有する方
- (2) 大学院で社会福祉学、社会学、心理学、教育工学、地域看護学、法学等を専攻し、修士以上の学位を有する方

3 書類選考

申込書類を基に書類選考を行います。書類選考の点数が基準点に達した方のみ、次の試験を実施します。

なお、書類選考の結果については、申込者全員に文書で通知します。試験日の前々日までに文書が到着しない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

4 試験内容

試験日	内容	場所
2026年 9月13日(日)	○小論文(60分) ・テーマは、試験当日に発表します。 ・試験中に資料等の閲覧はできません。 ○面接試験(個別面接)(約30分)	西日本こども 研修センターあかし

※試験の結果については、2026年10月下旬までに、受験者全員に文書で通知します。

また、合格者の受験番号を、当研修センターのウェブサイトに掲載します。

5 採用

- (1) 最終合格者は、採用前に健康診断を行っていただき、勤務に支障がないと認められた場合は、2027年4月1日に採用します。
- (2) 採用後6ヶ月間は、当財団職員就業規則に基づく条件付採用とし、その間職務を良好な成績で遂行した時に正式採用します(身分は、「公益財団法人こども財団職員」となります。)
- (3) 合格者の辞退等に備え、合格基準を満たした者を補欠合格とする場合があります。補欠合格の有効期限は、2027年3月31日までとします。

6 勤務条件等

① 勤務時間・休暇等

勤務場所	西日本こども研修センターあかし (明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7)
勤務時間	8:55~17:40(うち休憩1時間) ※1日7時間45分×週5日
週休日等	土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
休暇	年次有給休暇:1年度につき20日(採用日により異なります。) ※他に、夏季休暇・産前産後休暇等の各種特別休暇あり
福利厚生	健康診断:年1回の定期健康診断を実施 社会保険:健康保険(全国健康保険協会)及び厚生年金に加入 労働保険:雇用保険及び労働者災害補償保険に加入
その他	・育児短時間勤務、育児休業、部分休業、介護休業等の制度あり ・定年年齢60歳(定年年齢に達した後、再雇用制度あり) ・退職金制度あり(勤続1年以上)

② 給与

初任給の目安 (月額) ※金額は四捨五入	職務経歴	大学(4年制)卒	短大(2年制)卒	高校卒
	社会人経験 5年	約27万円	約26万円	約24万円
	社会人経験10年	約30万円	約28万円	約26万円
	社会人経験20年	約34万円	約33万円	約32万円

※地域手当(給与月額の8%)を含む金額で計算しています。

※上記経験年数は、全期間を民間企業等で正社員として勤務した場合です。

※初任給は、これまでの職務経歴や実務経験、採用時の格付けなどに応じて決定します。

※上記金額は、2026年4月現在のものであり、給与改定等を受け変更する場合があります。

(参考)2026年4月現在モデルケース



採用3年目職員(40代 係長級) 月額約38万円(年収約633万円)

採用5年目職員(50代 課長級) 月額約50万円(年収約843万円)

※年収には、期末・勤勉手当(賞与)を含みます。

※上記のほか、当財団の規程等に基づき、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外・休日勤務手当等を支給します。

8 申込手続

受付期間等	<p>受付期間:2026年5月1日(金)から 2026年7月31日(金)まで</p> <p>※受付期間内に必着のこと 最終日は午後5時 40 分まで</p> <p>※<u>申込書類を簡易書留で郵送</u>してください(持参は不可とします。)</p> <p>申込用紙(財団所定の様式)等ダウンロードは こちらから ➔ https://akashi-nkkc.jp/news/284/</p>  <p>※申込書類が折れ曲がらないよう、申込書類は角2封筒に封入し、封筒の表に別紙の宛名シートを貼り付けてください。</p> <p>※受付期間以降に到着したのものについては、いかなる理由があっても受付できません。</p> <p>※申込書類は、当研修センターのウェブサイトからダウンロードしてください。</p>
申込書類	<ol style="list-style-type: none">(1) 採用試験申込書①、②[所定様式](2) 職務経歴等報告書[所定様式](3) 受験票[所定様式](4) 返信用封筒(長3サイズ(12cm×23.5cm)に返信先住所・宛名を明記し、110円切手を1枚貼り付けてください。)(5) 「2 受験資格」を有することを証明する卒業証書等の写し (内定後に在籍証明書を提出していただきます) <p>※ 外国人の受験資格については、永住許可を受けている人に限ります。</p>
問合せ先/ 書類提出先	<p>〒674-0068 兵庫県明石市大久保町ゆりのき通 1 丁目 4 番地の7 西日本こども研修センターあかし 公益財団法人こども財団 職員採用担当 宛</p>  <p>TEL:078-920-9675 FAX:078-920-9671 (mail)saiyou2026@akashi-kodomo-zaidan.jp (H P)https://akashi-nkkc.jp</p>

9 注意事項

- (1) 提出書類に事実と異なる記載をした場合、合格又は採用を取り消すことがあります。
- (2) 職務経歴等報告書については、採用内定後、記載された勤務先からの証明をお願いすることがあります。
- (3) 提出書類は返却しません。
- (4) 選考結果及び理由についてのお問い合わせは、一切受け付けません。
- (5) 研修センターを運営する「公益財団法人こども財団」の法人概要や事業内容については、ウェブサイトでご確認ください。

